

LC PARTS(TRD)

MS313-11001/2/3

リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はLC PARTS (TRD) リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS313-11001-A1	ホワイトノグアガラスレク (083)	LC500	URZ100	'17.03 ~	
MS313-11001-C0	ブラック (212)				
MS313-11001-C2	グラファイトブラックガラスレク (223)	LC500h	GWZ100		
MS313-11002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS313-11003	共通品 (212)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

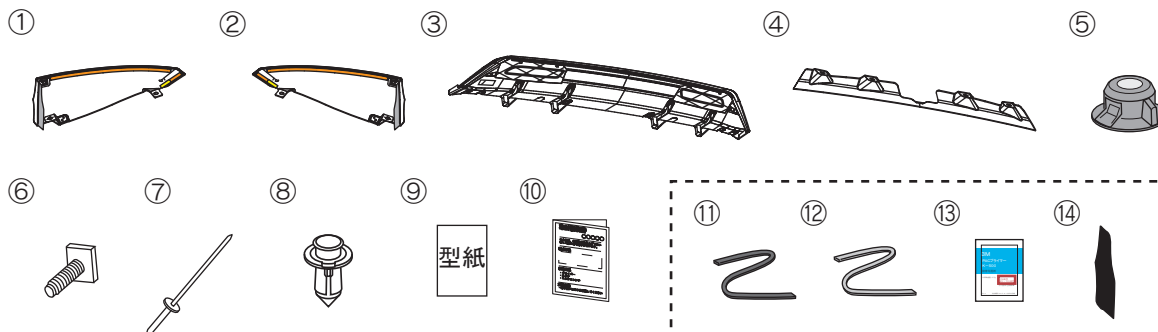
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤスパッツ RH		1	
②	リヤスパッツ LH		1	
③	リヤディフューザー		1	
④	アンダーカバー		1	
⑤	クリップナット		2	M6用
⑥	スクエアヘッドボルト		2	6×15
⑦	三つ割れリベット		5	黒色 (予備1個を含む)
⑧	クリップ		4	
⑨	型紙		1	A4シール
⑩	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-11002-NP (未塗装品セット) のみに同梱

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
⑪	モール		1	黒 L=950mm (①②で半分ずつ使用)
⑫	モール		1	グレー L=950mm (①②で半分ずつ使用)
⑬	PACプライマー		1	K-500
⑭	プレート RH		1	
⑮	プレート LH		1	



⑪⑫⑬⑭⑮は未塗装品にのみ同梱

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクトイー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

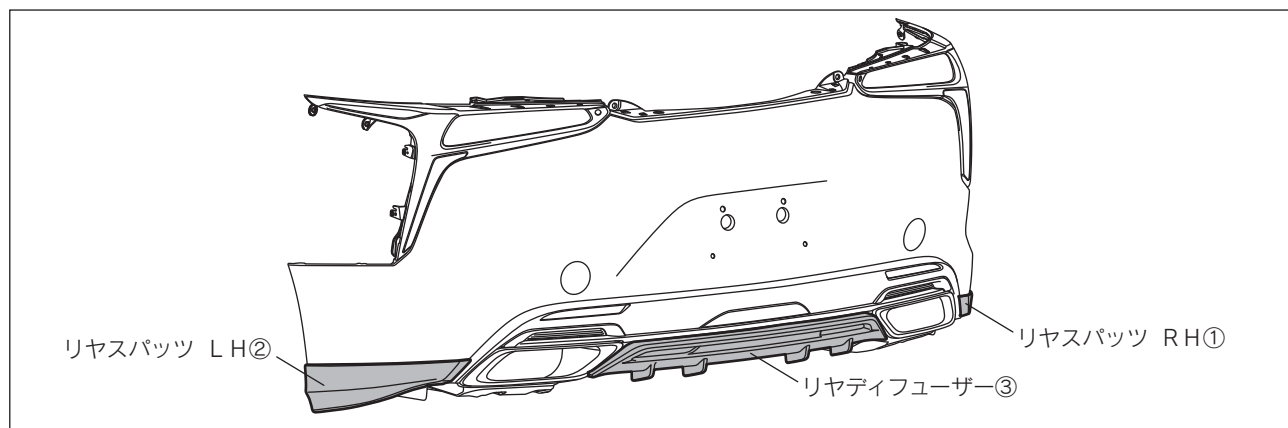
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ)・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・ 3
4. 取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～8
5. 取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等）・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ガムテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図

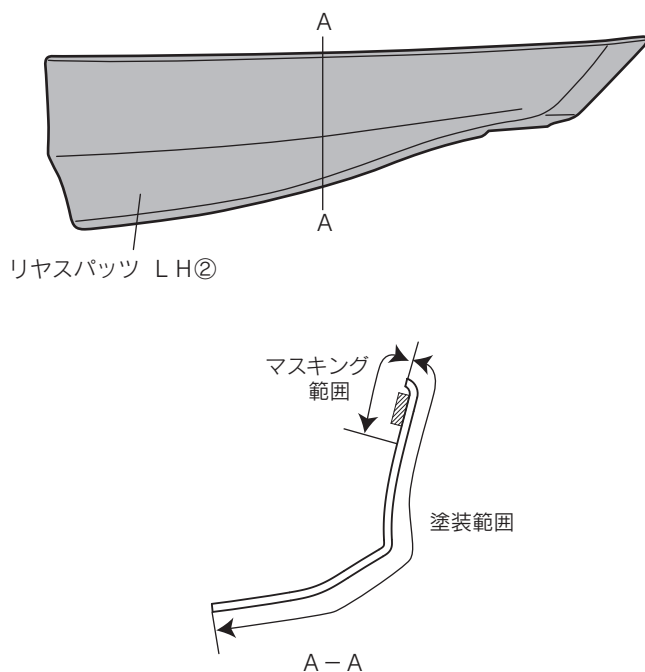


■ 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-11002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図1



□ リヤスパッツの塗装

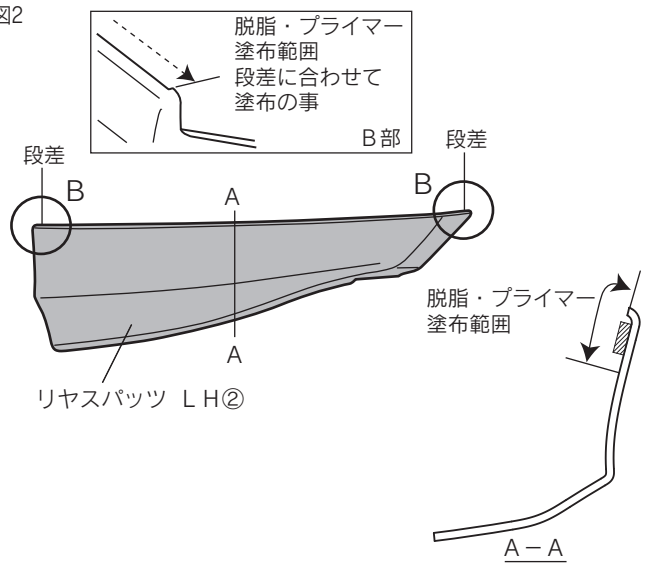
1. 図1のようにリヤスパッツ LH②をボディー色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

図2



■モールの貼付け

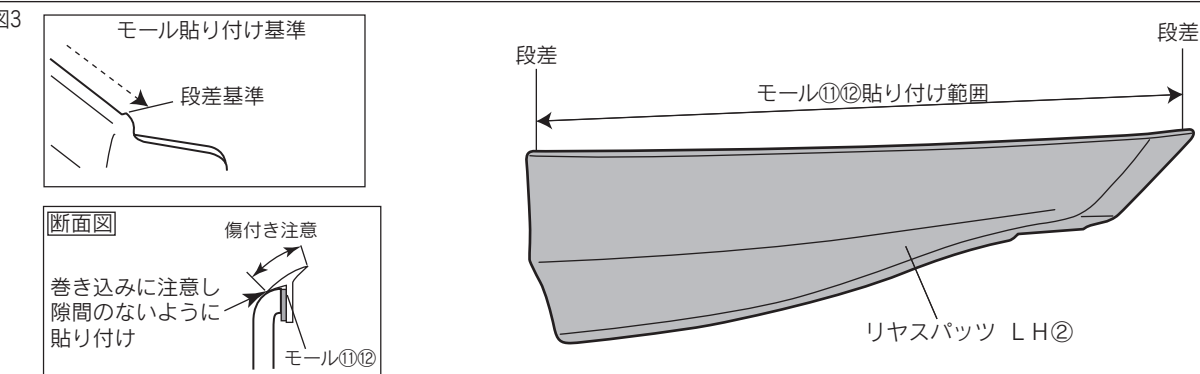
- 図2のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑬を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

⚠注意：PACプライマーK-500⑬は再度使いますので、二つ折りにし揮発しないようにしてください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図3

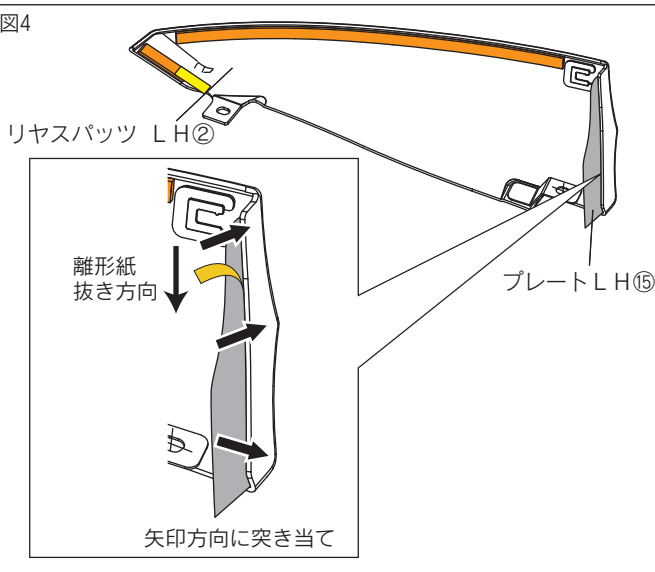


- 図3のようにリヤスパッツ②に、モール⑪⑫の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

👉アドバイス：モール⑪⑫は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼り付けてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

図4



■プレートの貼付け

- 図4のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑬を塗布する。
突き当て基準でプレート LH⑮を貼付ける。

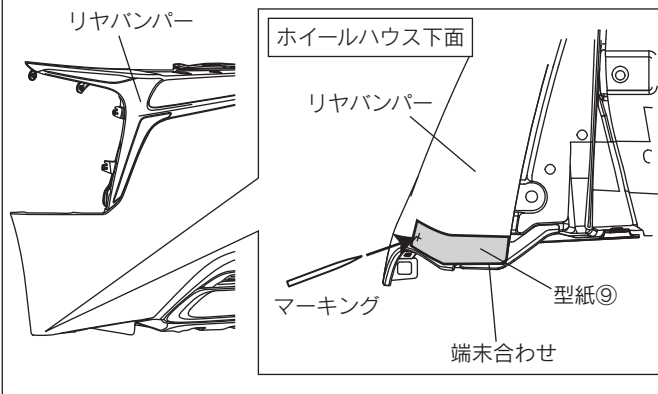
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	グレー
1G0	ダークグレーマイカ	ブラック
3T5	ラディアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
3S0	ガーネットレッドマイカ	ブラック
4X2	アンバークリスタルシャイン	ブラック
5C1	ネーブルスイエロー	グレー
8X5	ディープブルーマイカ	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	グレー

図5



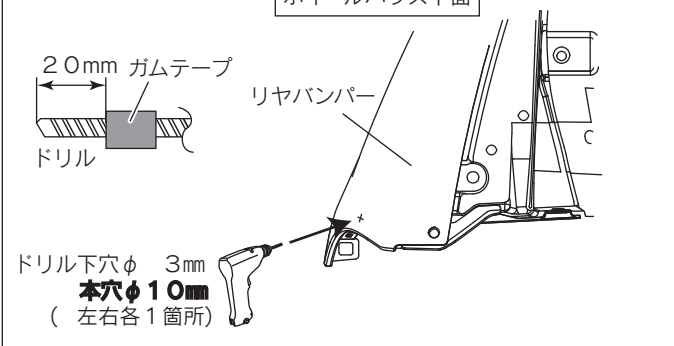
□ リヤスパッツの取付準備

- 図5のように型紙⑨をホイールハウス部に貼付け、指示部をマーキングする。
(左右各1箇所)

△注意：型紙の末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼り直してください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、リヤスパッツを仮合せて確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

図6



- 図6のように型紙をすべて剥がし、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ10mmの順にドリルを使用してリヤホイールハウスのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。
(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

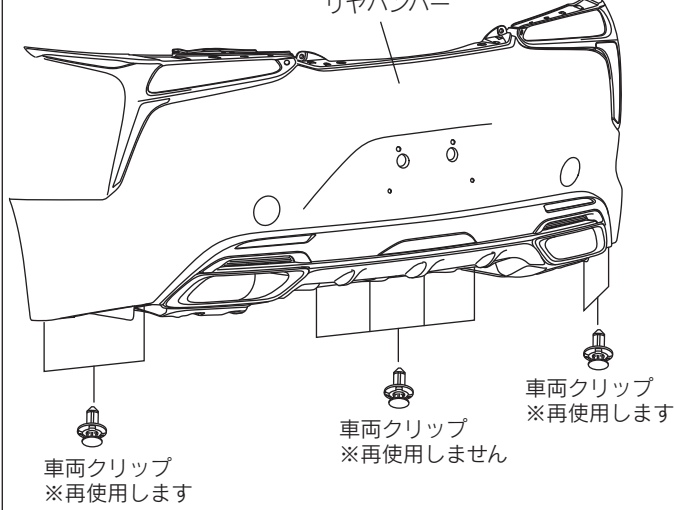
△注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

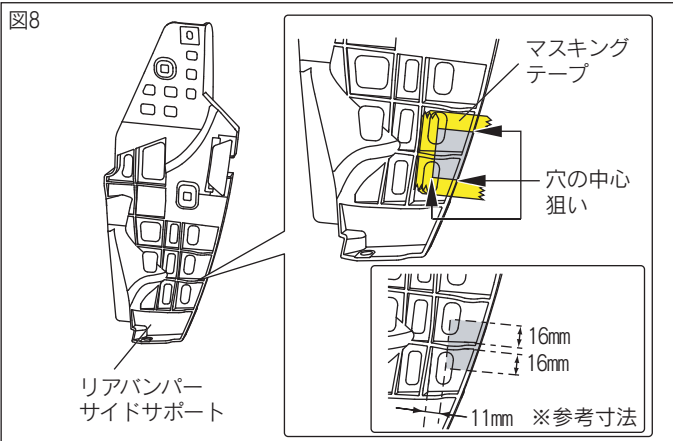
- 図7のように車両修理書に従い、車両バンパーを取り外す。

△注意：取外した車両部品は、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：センター部の車両クリップは、再使用しません。

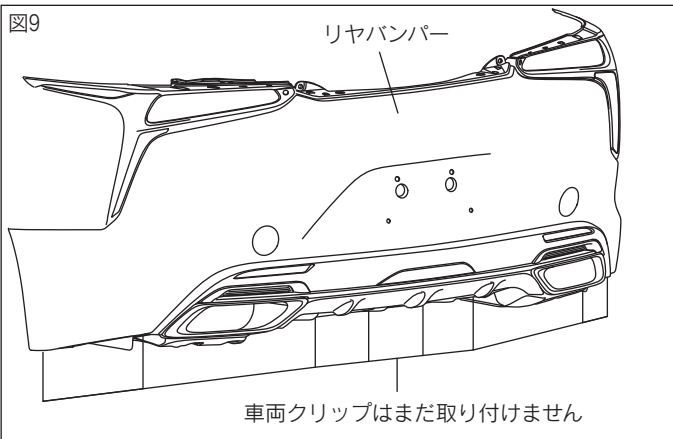
図7





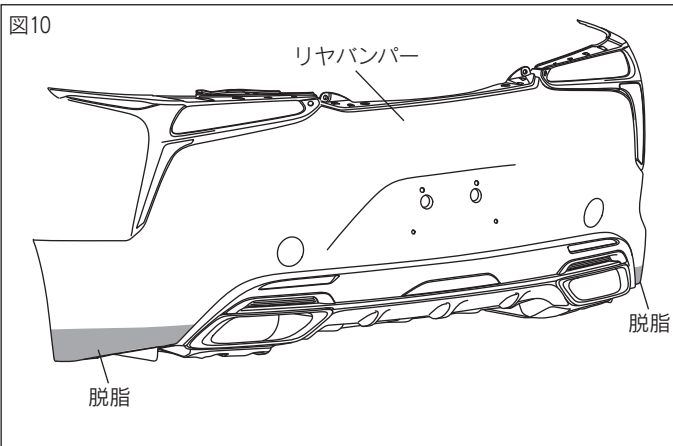
4. ホイルハウス部のフェンダーライナーをめくり、図8のようにリアバンパーサイドサポートにマーキングをする。(左右各1箇所)
5. 図8のようにマスキングテープの内側の線に合わせて、エアソー等でカットして、バリを取り除きマスキングテープをはがす。(左右各1箇所)

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。



6. 図9のように車両修理書に従い、車両バンパーを取りつける。

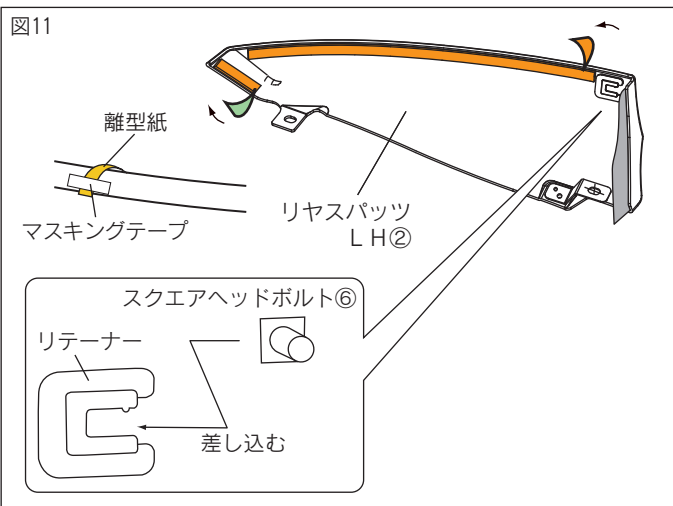
△注意：下面の車両クリップは、まだ取り付けません。



7. 図10のようにリアバンパーのリヤスパッツ②取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂する。

△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

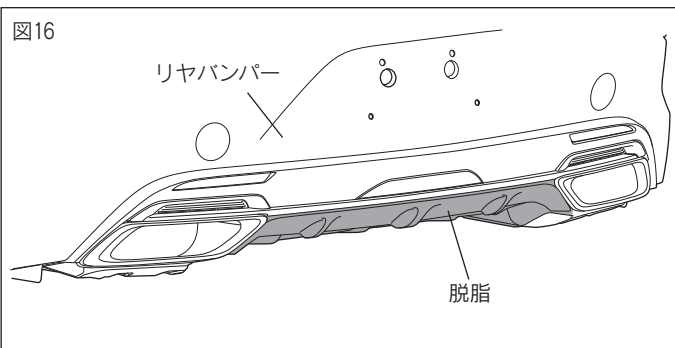
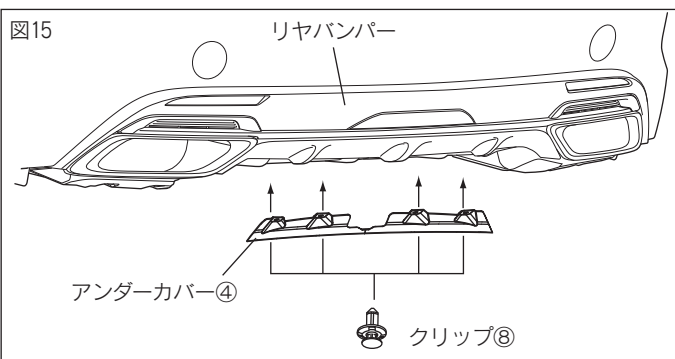
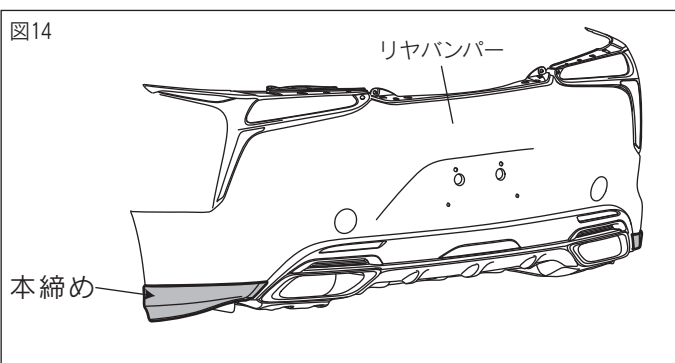
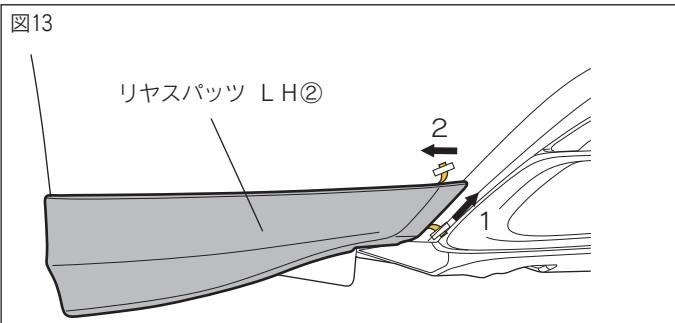
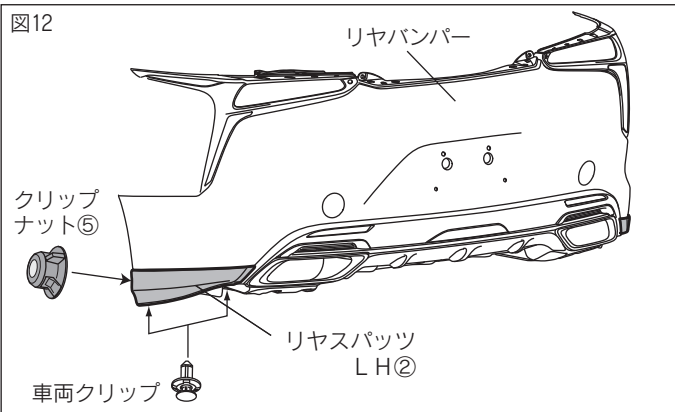


8. 図11のようにリヤスパッツ LH②の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

△注意：離形紙のピックアップテープ(青色)は強く引張ると剥がれる恐れがある為、作業前に必ず離形紙と一緒に少し(10mm)剥がしてから作業を行ってください。

9. 図11の拡大図のようにリヤスパッツ②に付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルト⑥を差し込む。(左右各1箇所)



10. 図12のようにリヤスパッツ LH②をリアバンパーにかぶせ、下面を車両クリップで固定する。
(左右各2箇所)
11. 図12のようにスクエアヘッドボルト⑥にクリップナット⑤を仮締めする。
(左右各1箇所)
12. 図13のようにリアバンパーとリヤスパッツ LH②に隙間が開かないように押し付け、リヤスパッツ LH②の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。
(左右各1箇所)

{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

13. 図14のように仮締めしておいたクリップナット⑤を本締めしする。
(左右各1箇所)
14. めくっていたフェンダーライナーをもとに戻す。
(左右各1箇所)

□リヤディフューザーの取付準備

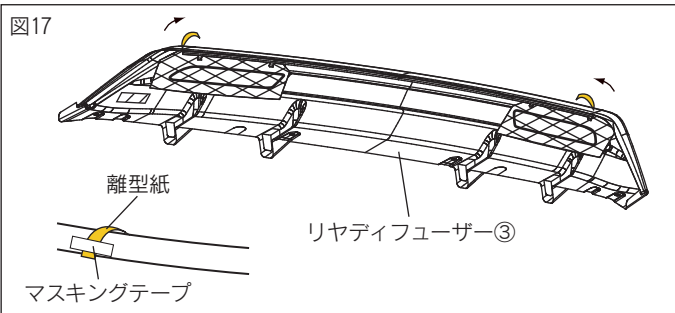
1. 図15のようにアンダーカバー④をリアバンパーにクリップ⑧で取り付ける。
(左右各2箇所)

2. 図16のように車両ディフューザーのリヤディフューザー③取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

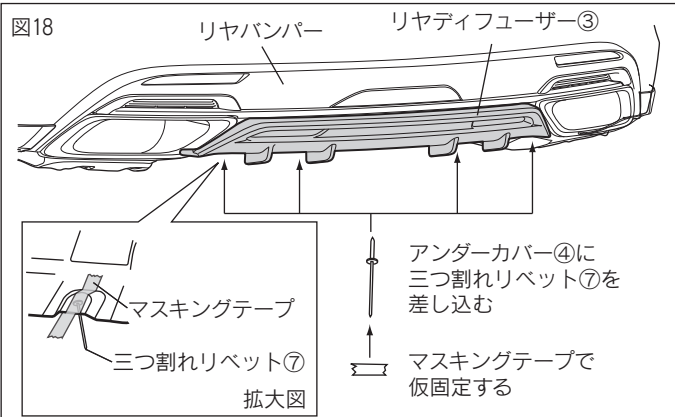
△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図17



3. 図17のようにリヤディフューザー③の両面テープの離型紙を矢印の向きに折り曲げ、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各1箇所)

図18



□リヤディフューザーの取付

1. 図18のようにリヤディフューザー③をリヤバンパーにかぶせ、下面のアンダーカバー④に三つ割れリベット⑦で仮固定する。
(左右各2箇所)

⚠注意：この作業時は、三つ割れリベット⑦は打ち込まないでください。

2. 図19のように車両ディフューザーとリヤディフューザー③に隙間が開かないように押し付け、リヤディフューザー③の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。
(左右各1箇所)

{49N (5kgf) 以上}

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

図19

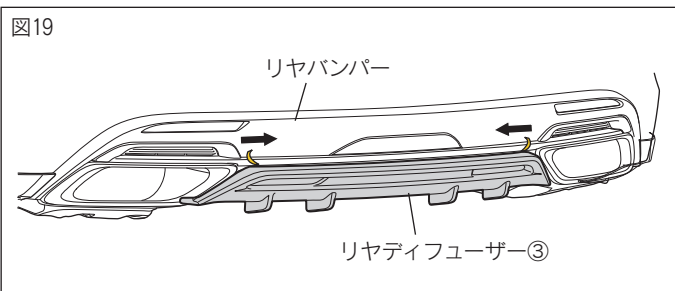
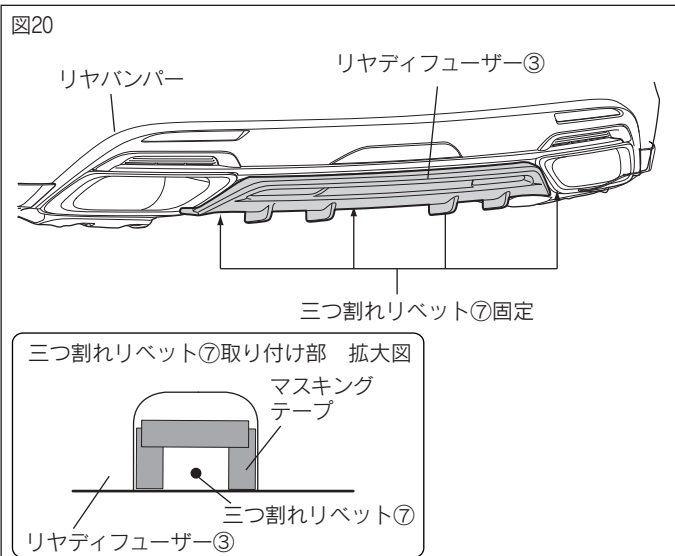


図20



3. 図20のように、作業1で貼付けたマスキングテープを剥がし、三つ割れリベット⑦取り付け部周辺のリヤディフューザー③をマスキングテープ等でマスキングする。
(左右各2箇所)

4. 三つ割れリベット⑦でリヤディフューザー③とアンダーカバー④を固定します。
作業3で貼付けたマスキングテープを剥がす。
(左右各2箇所)

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付後は最短3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取ください。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザーがクリップ・クリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>

